

# 米国エネルギー革命関連ファンド

## Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

### 愛称：エネルギーレボリューション

## 運用報告書(全体版)

第88期 (決算日2020年10月27日) 第89期 (決算日2020年11月27日) 第90期 (決算日2020年12月28日)  
第91期 (決算日2021年1月27日) 第92期 (決算日2021年3月1日) 第93期 (決算日2021年3月29日)

作成対象期間 (2020年9月29日～2021年3月29日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース (為替ヘッジあり)	Bコース (為替ヘッジなし)
商品分類	追加型投信/海外/その他資産	
信託期間	2013年5月21日から2023年9月27日までです。	
運用方針	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主たる投資対象とする投資信託証券 (投資信託および外国投資信託の受益証券 (投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。)) および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。 投資する投資信託証券は、投資対象市場の動向等を勘案して適宜見直しを行います。 投資信託証券への投資比率には特に制限を設けず、投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
主な投資対象	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資制限	投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入	券 率	債 先 物 比	投 資 組 入	信 託 証 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落						
	円		円		%	%	%	%	百万円	
64期(2018年10月29日)	4,915		20		△ 6.0	0.3	—	98.4	2,617	
65期(2018年11月27日)	4,739		20		△ 3.2	0.3	—	98.5	2,469	
66期(2018年12月27日)	4,371		20		△ 7.3	0.3	—	98.4	2,225	
67期(2019年1月28日)	4,786		20		10.0	0.3	—	98.5	2,400	
68期(2019年2月27日)	4,788		20		0.5	0.3	—	98.2	2,367	
69期(2019年3月27日)	4,813		20		0.9	0.3	—	98.5	2,325	
70期(2019年5月7日)	4,785		20		△ 0.2	0.3	—	98.2	2,302	
71期(2019年5月27日)	4,765		20		0.0	0.3	—	98.5	2,271	
72期(2019年6月27日)	4,646		20		△ 2.1	0.3	—	98.4	2,199	
73期(2019年7月29日)	4,684		20		1.2	0.3	—	98.4	2,169	
74期(2019年8月27日)	4,200		20		△ 9.9	0.2	—	98.4	1,937	
75期(2019年9月27日)	4,389		20		5.0	0.0	—	98.4	2,006	
76期(2019年10月28日)	4,262		20		△ 2.4	0.5	—	98.3	1,905	
77期(2019年11月27日)	4,046		20		△ 4.6	0.5	—	98.3	1,776	
78期(2019年12月27日)	4,399		20		9.2	0.5	—	98.3	1,891	
79期(2020年1月27日)	4,292		20		△ 2.0	0.7	—	98.3	1,856	
80期(2020年2月27日)	3,668		20		△14.1	0.6	—	98.1	1,572	
81期(2020年3月27日)	2,139		20		△41.1	0.4	—	97.7	926	
82期(2020年4月27日)	2,713		5		27.1	0.6	—	97.4	1,209	
83期(2020年5月27日)	3,133		5		15.7	0.6	—	98.1	1,406	
84期(2020年6月29日)	2,898		5		△ 7.3	0.6	—	97.8	1,294	
85期(2020年7月27日)	2,959		5		2.3	0.6	—	98.1	1,281	
86期(2020年8月27日)	2,925		5		△ 1.0	0.7	—	97.9	1,252	
87期(2020年9月28日)	2,580		5		△11.6	0.7	—	97.8	1,088	
88期(2020年10月27日)	2,746		5		6.6	0.6	—	98.0	1,140	
89期(2020年11月27日)	3,355		5		22.4	0.9	—	98.2	1,314	
90期(2020年12月28日)	3,313		5		△ 1.1	0.6	—	97.9	1,194	
91期(2021年1月27日)	3,498		5		5.7	0.8	—	98.0	1,237	
92期(2021年3月1日)	3,658		5		4.7	0.6	—	97.6	1,208	
93期(2021年3月29日)	3,994		5		9.3	0.5	—	97.8	1,291	

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## &lt;Aコース（為替ヘッジあり）&gt;

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第88期	(期首) 2020年9月28日	円	%	—	%	—	%
	9月末	2,580	—	0.7	—	97.8	
	(期末) 2020年10月27日	2,647	2.6	0.6	—	97.7	
第89期	(期首) 2020年10月27日	2,751	6.6	0.6	—	98.0	
	10月末	2,746	—	0.6	—	98.0	
	(期末) 2020年11月27日	2,668	△ 2.8	0.6	—	97.5	
第90期	(期首) 2020年11月27日	3,360	22.4	0.9	—	98.2	
	11月末	3,355	—	0.9	—	98.2	
	(期末) 2020年12月28日	3,298	△ 1.7	0.6	—	97.3	
第91期	(期首) 2020年12月28日	3,318	△ 1.1	0.6	—	97.9	
	12月末	3,313	—	0.6	—	97.9	
	(期末) 2021年1月27日	3,226	△ 2.6	0.6	—	97.8	
第92期	2021年1月27日	3,503	5.7	0.8	—	98.0	
	1月末	3,498	—	0.8	—	98.0	
	2月末	3,465	△ 0.9	0.6	—	97.9	
	(期末) 2021年3月1日	3,763	7.6	0.6	—	97.8	
第93期	(期首) 2021年3月1日	3,663	4.7	0.6	—	97.6	
	3月末	3,658	—	0.6	—	97.6	
	(期末) 2021年3月29日	3,999	9.3	0.5	—	97.8	

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○最近30期の運用実績

決算期	基 準 額 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
64期(2018年10月29日)	5,801		20	△ 6.6	0.2	—	98.4	23,276
65期(2018年11月27日)	5,676		20	△ 1.8	0.2	—	98.4	22,526
66期(2018年12月27日)	5,141		20	△ 9.1	0.2	—	98.5	19,979
67期(2019年1月28日)	5,616		20	9.6	0.2	—	98.6	21,751
68期(2019年2月27日)	5,686		20	1.6	0.2	—	98.6	21,772
69期(2019年3月27日)	5,699		20	0.6	0.2	—	98.5	21,464
70期(2019年5月7日)	5,760		20	1.4	0.2	—	98.6	21,308
71期(2019年5月27日)	5,645		20	△ 1.6	0.2	—	98.5	20,804
72期(2019年6月27日)	5,418		20	△ 3.7	0.2	—	98.6	19,721
73期(2019年7月29日)	5,537		20	2.6	0.2	—	98.5	19,845
74期(2019年8月27日)	4,845		20	△12.1	0.2	—	98.5	17,256
75期(2019年9月27日)	5,168		20	7.1	0.0	—	98.5	18,229
76期(2019年10月28日)	5,074		20	△ 1.4	0.4	—	98.1	17,653
77期(2019年11月27日)	4,845		20	△ 4.1	0.4	—	98.4	16,425
78期(2019年12月27日)	5,304		20	9.9	0.3	—	98.5	17,384
79期(2020年1月27日)	5,205		20	△ 1.5	0.5	—	98.3	16,757
80期(2020年2月27日)	4,489		20	△13.4	0.4	—	98.3	14,257
81期(2020年3月27日)	2,536		20	△43.1	0.3	—	98.1	8,070
82期(2020年4月27日)	3,167		5	25.1	0.5	—	98.1	10,329
83期(2020年5月27日)	3,666		5	15.9	0.4	—	98.3	11,894
84期(2020年6月29日)	3,357		5	△ 8.3	0.5	—	98.2	10,871
85期(2020年7月27日)	3,428		5	2.3	0.5	—	98.2	10,940
86期(2020年8月27日)	3,372		5	△ 1.5	0.5	—	98.1	10,616
87期(2020年9月28日)	2,948		5	△12.4	0.5	—	98.0	9,125
88期(2020年10月27日)	3,127		5	6.2	0.5	—	98.1	9,495
89期(2020年11月27日)	3,812		5	22.1	0.7	—	98.4	11,164
90期(2020年12月28日)	3,728		5	△ 2.1	0.5	—	98.2	10,100
91期(2021年1月27日)	3,957		5	6.3	0.6	—	98.1	10,385
92期(2021年3月1日)	4,224		5	6.9	0.4	—	97.9	10,801
93期(2021年3月29日)	4,755		5	12.7	0.4	—	98.1	11,692

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## &lt;Bコース（為替ヘッジなし）&gt;

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率					
第88期	(期 首) 2020年9月28日	円 2,948	% —	% 0.5	% —	% 98.0			
	9月末	3,030	2.8	0.5	—	98.1			
	(期 末) 2020年10月27日	3,132	6.2	0.5	—	98.1			
第89期	(期 首) 2020年10月27日	3,127	—	0.5	—	98.1			
	10月末	3,020	△ 3.4	0.5	—	97.8			
	(期 末) 2020年11月27日	3,817	22.1	0.7	—	98.4			
第90期	(期 首) 2020年11月27日	3,812	—	0.7	—	98.4			
	11月末	3,731	△ 2.1	0.4	—	97.4			
	(期 末) 2020年12月28日	3,733	△ 2.1	0.5	—	98.2			
第91期	(期 首) 2020年12月28日	3,728	—	0.5	—	98.2			
	12月末	3,641	△ 2.3	0.5	—	98.1			
	(期 末) 2021年1月27日	3,962	6.3	0.6	—	98.1			
第92期	(期 首) 2021年1月27日	3,957	—	0.6	—	98.1			
	1月末	3,943	△ 0.4	0.5	—	98.0			
	2月末	4,346	9.8	0.4	—	98.1			
	(期 末) 2021年3月1日	4,229	6.9	0.4	—	97.9			
第93期	(期 首) 2021年3月1日	4,224	—	0.4	—	97.9			
	(期 末) 2021年3月29日	4,760	12.7	0.4	—	98.1			

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

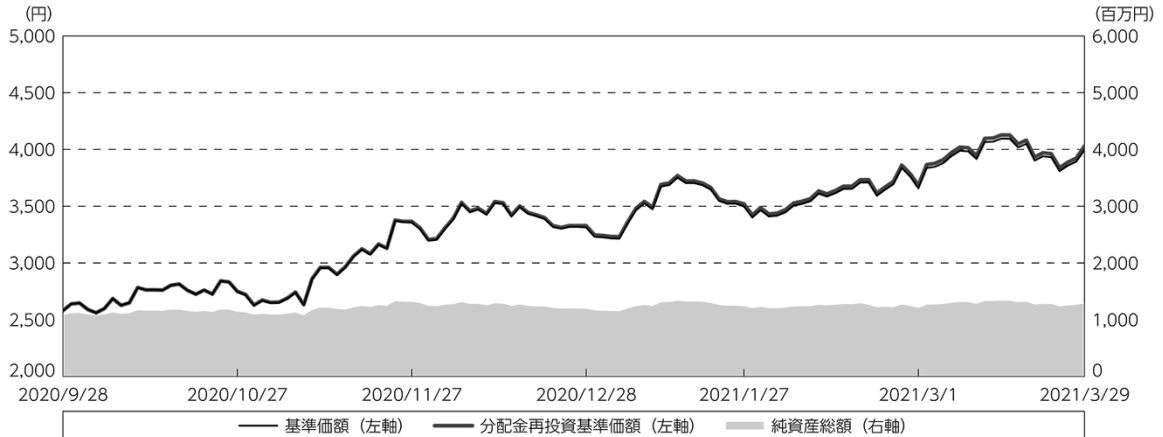
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## <Aコース（為替ヘッジあり）>

### ◎運用経過

#### ○作成期間中の基準価額等の推移



第88期首：2,580円

第93期末：3,994円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：56.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年9月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）からのインカムゲイン（利息収入）

実質的に投資している、米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPからのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

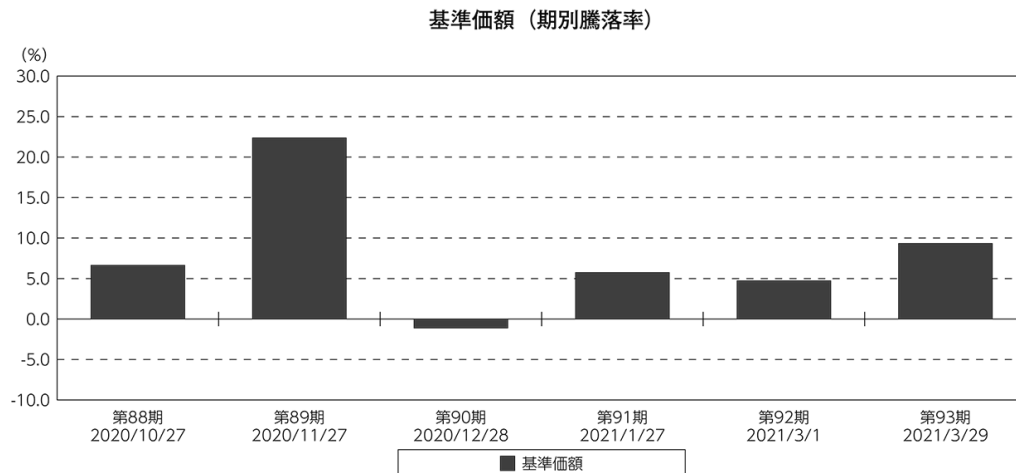
為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## &lt;Aコース（為替ヘッジあり）&gt;

## ◎分配金

収益分配金については、各期毎の利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行いました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2020年9月29日～ 2020年10月27日	2020年10月28日～ 2020年11月27日	2020年11月28日～ 2020年12月28日	2020年12月29日～ 2021年1月27日	2021年1月28日～ 2021年3月1日	2021年3月2日～ 2021年3月29日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.182%	5 0.149%	5 0.151%	5 0.143%	5 0.137%	5 0.125%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,097	2,105	2,110	2,117	2,124	2,131

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

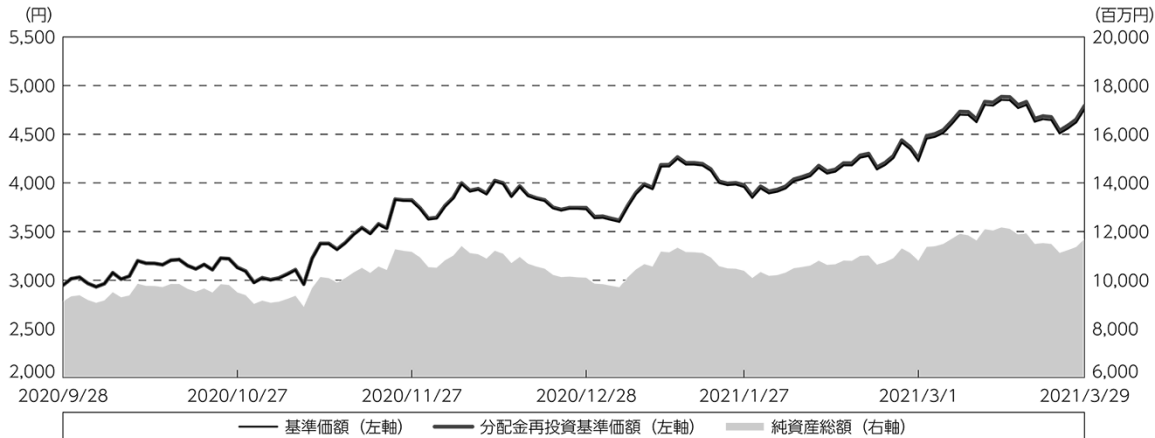
店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。



<Bコース（為替ヘッジなし）>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第88期首：2,948円

第93期末：4,755円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：62.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年9月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）からのインカムゲイン（利息収入）

実質的に投資している、米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPからのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

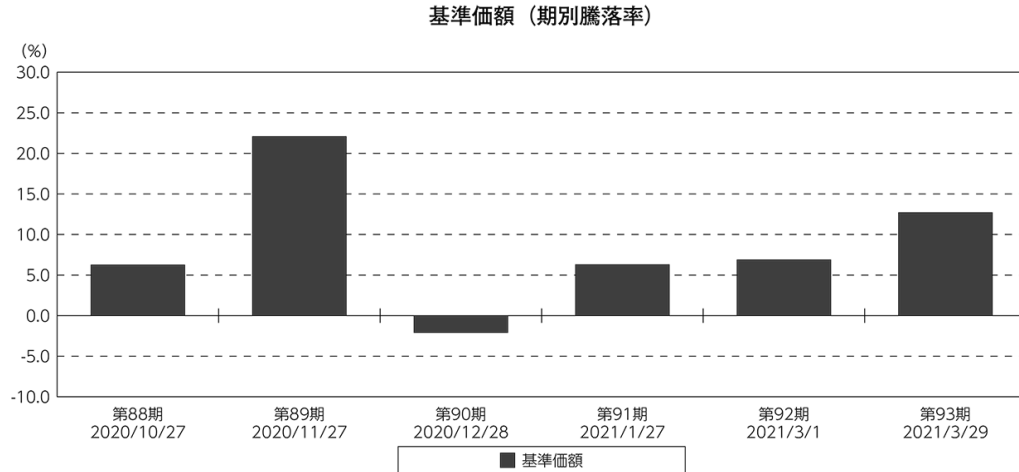
円/米ドルの為替変動

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、複数の投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

◎分配金

収益分配金については、各期毎の利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行いました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2020年9月29日～ 2020年10月27日	2020年10月28日～ 2020年11月27日	2020年11月28日～ 2020年12月28日	2020年12月29日～ 2021年1月27日	2021年1月28日～ 2021年3月1日	2021年3月2日～ 2021年3月29日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.160%	5 0.131%	5 0.134%	5 0.126%	5 0.118%	5 0.105%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,546	3,553	3,558	3,565	3,572	3,591

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

<Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）>

**○投資環境**

当作成期間のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場は上昇しました。

前半は、おおむね小幅な範囲での推移となる中、シェール業界での再編期待が浮上したことなどから、MLP市場は底堅い動きとなりました。その後は、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、経済の正常化と共に原油需要が持ち直すとの期待が広がったことなどから、原油価格が堅調となり、MLP市場も上昇しました。

半ばになると、利益確定と思われる売り圧力の高まりや、2020年末に向けたタックスロス・セリング（節税対策の売り）が見られたことなどからMLP市場は下落しました。その後、米国のバイデン新政権による積極的な景気対策などによりエネルギー需要が回復するとの見方が強まり、MLP市場が上昇する場面も見られましたが、新型コロナウイルスの感染が再拡大する様相となると方向感の定まらない展開となりました。

後半は、コロナ禍後の経済活動の正常化とそれに伴うエネルギー需要の回復期待から、MLP市場は上昇に転じましたが、その後原油価格の上昇が一服したことなどからMLP市場は伸び悩みました。

為替市場の動きについては、2020年10月頃から年末にかけ、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大などによりドル円レートは円高・ドル安基調となりました。しかし、年明け以降は新型コロナウイルス向けワクチン普及による経済正常化への期待や、バイデン米新政権による追加の大型経済対策への期待などから日米金利差の拡大が意識され、ドル円レートは円安・ドル高が進みました。

**○当ファンドのポートフォリオ**

**[米国エネルギー革命関連ファンド Aコース（為替ヘッジあり）]**

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象としました。当運用期間においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] の受益証券への投資比率はおおむね高位を維持しました。

**[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス]**

高水準のインカムゲイン（配当等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とし、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。また、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物が替先渡取引等を活用しました。

**[米国エネルギー革命関連ファンド Bコース（為替ヘッジなし）]**

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象としました。当運用期間においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] の受益証券への投資比率はおおむね高位を維持しました。

<Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）>

### [ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス]

高水準のインカムゲイン（配当等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とし、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

### [野村マネーインカム マザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

## ◎今後の運用方針

### [米国エネルギー革命関連ファンド Aコース（為替ヘッジあり）]

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とします。通常の状態においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] の受益証券への投資を中心とします\*が、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

\*通常の状態においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス] 受益証券への投資比率は、おおむね90%以上を目処とします。

### [ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円為替ヘッジ・クラス]

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を目指します。また、組入資産を原則として対円で為替ヘッジを行います。

当ファンドは、米国のエネルギー関連事業等に投資するMLPを実質的な主要投資対象とします。また、エネルギー関連事業等を行う企業の株式等に投資を行う場合があります。組入にあたっては、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心とする方針です。

コロナ禍以前の通常時においては、原油などのエネルギー在庫は春先までは積み上がるものの、以降は需要増に応じて減る傾向がありました。しかし、コロナ禍においては、世界的なエネルギー需要の大幅減少を受け、生産業者が自主的に新規掘削を抑制し、在庫は低水準に落ち込みました。今後は、新型コロナウイルスのワクチン普及などを通じて経済の正常化がもたら

<Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）>

されれば、現在の生産能力では需要増加に追い付けなくなることから、上流エネルギー企業は再び掘削に向けた設備投資増と成長戦略への回帰が求められるものと考えます。

また、2020年10-12月期決算で、市場予想に対し上振れ／下振れしたMLPおよび中流エネルギー企業が一部で見られたものの、大方の企業は市場予想の範囲内の決算結果に収まっており、配当支払い後・設備投資後のフリーキャッシュフロー（税引き後営業利益に減価償却費を加え、設備投資額と運転資本の増加を差し引いたもの）も黒字化させています。今後、グローバルでのエネルギー需要量が回復すれば、フリーキャッシュフロー創出による更なる成長が期待できるものと期待します。

こうした環境下、運用チームではエネルギー中流事業の地理的な位置づけや対象市場、資産タイプなどについて、引き続き詳細に調査を行い、バランスシートの健全性や親会社を含むサプライチェーンの状況なども評価して投資を行ってまいります。

**[米国エネルギー革命関連ファンド Bコース（為替ヘッジなし）]**

[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] および [野村マネーインカム マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とします。通常の状態においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] の受益証券への投資を中心とします\*が、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状態においては、[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス] 受益証券への投資比率は、おおむね90%以上を目処とします。

**[ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンドー日本円クラス]**

米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を目指します。

当ファンドは、米国のエネルギー関連事業等に投資するMLPを実質的な主要投資対象とします。また、エネルギー関連事業等を行う企業の株式等に投資を行う場合があります。組入にあたっては、資源価格の変動や景気の影響を比較的受けにくく、安定した収益の獲得が期待できるパイプラインなどの中流事業の銘柄を中心とする方針です。

コロナ禍以前の通常時においては、原油などのエネルギー在庫は春先までは積み上がるものの、以降は需要増に応じて減る傾向がありました。しかし、コロナ禍においては、世界的なエネルギー需要の大幅減少を受け、生産業者が自主的に新規掘削を抑制し、在庫は低水準に落ち込みました。今後は、新型コロナウイルスのワクチン普及などを通じて経済の正常化がもたらされれば、現在の生産能力では需要増加に追い付けなくなることから、上流エネルギー企業は再び掘削に向けた設備投資増と成長戦略への回帰が求められるものと考えます。

＜Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）＞

また、2020年10-12月期決算で、市場予想に対し上振れ／下振れしたMLPおよび中流エネルギー企業が一部で見られたものの、大方の企業は市場予想の範囲内の決算結果に収まっており、配当支払い後・設備投資後のフリーキャッシュフロー（税引き後営業利益に減価償却費を加え、設備投資額と運転資本の増加を差し引いたもの）も黒字化させています。今後、グローバルでのエネルギー需要量が回復すれば、フリーキャッシュフロー創出による更なる成長が期待できるものと期待します。

こうした環境下、運用チームではエネルギー中流事業の地理的な位置づけや対象市場、資産タイプなどについて、引き続き詳細に調査を行い、バランスシートの健全性や親会社を含むサプライチェーンの状況なども評価して投資を行ってまいります。

**[野村マネーインカム マザーファンド]**

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○1万口当たりの費用明細

（2020年9月29日～2021年3月29日）

項 目	第88期～第93期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.455	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 5 ）	（ 0.165 ）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	（ 9 ）	（ 0.274 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	（ 1 ）	（ 0.016 ）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.002 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0.457	
作成期間の平均基準価額は、3,177円です。			

\*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

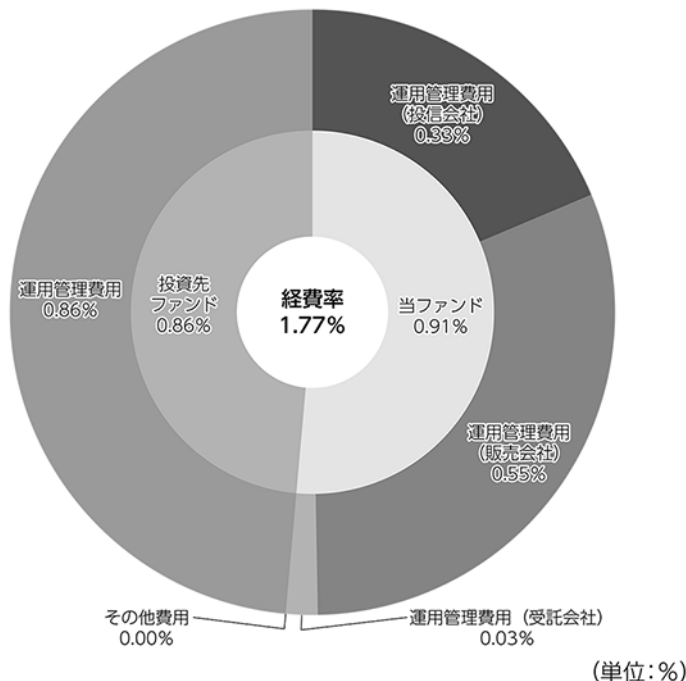


## &lt;Aコース（為替ヘッジあり）&gt;

## （参考情報）

## ○経费率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経费率（年率）は1.77%です。



経费率(①+②)	1.77
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86

(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○売買及び取引の状況

（2020年9月29日～2021年3月29日）

投資信託証券

銘 柄		第88期～第93期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・セレクション・ファンド-USエネルギー・ファンド-日本円為替ヘッジ・クラス	口	千円	口	千円
		7,194	19,690	124,684	341,575

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年9月29日～2021年3月29日）

利害関係人との取引状況

<米国エネルギー革命関連ファンド Aコース（為替ヘッジあり）>  
該当事項はございません。

<野村マネーインカム マザーファンド>

区 分	第88期～第93期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 85	百万円 35	% 41.2	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 13.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

（2021年3月29日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第87期末	第93期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・セレクション・ファンド-USエネルギー・ファンド-日本円為替ヘッジ・クラス	口 501,616	口 384,126	千円 1,262,622	% 97.8
合 計	501,616	384,126	1,262,622	97.8

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

親投資信託残高

銘 柄	第87期末		第93期末	
	口 数		評 価 額	
野村マネーインカム マザーファンド	千口 12,000		千円 11,978	

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年3月29日現在)

項 目	第93期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,262,622	% 97.2
野村マネーインカム マザーファンド	11,978	0.9
コール・ローン等、その他	24,643	1.9
投資信託財産総額	1,299,243	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末
	2020年10月27日現在	2020年11月27日現在	2020年12月28日現在	2021年1月27日現在	2021年3月1日現在	2021年3月29日現在
(A) 資産	円 1,150,233,731	円 1,337,865,808	円 1,215,427,765	円 1,246,004,228	円 1,237,595,619	円 1,299,243,914
コール・ローン等	20,172,491	16,922,782	26,779,463	20,873,084	42,798,507	21,441,723
投資信託受益証券(評価額)	1,116,876,798	1,291,658,382	1,169,963,762	1,213,150,344	1,178,714,880	1,262,622,162
野村マネーインカム マザーファンド(評価額)	11,983,200	11,982,000	11,980,800	11,980,800	11,979,600	11,978,400
未収入金	1,201,242	17,302,644	6,703,740	—	4,102,632	3,201,629
(B) 負債	円 10,069,402	円 22,868,777	円 20,796,329	円 8,255,451	円 29,407,601	円 7,668,300
未払金	—	—	6,499,125	—	—	—
未払収益分配金	2,076,163	1,959,557	1,802,946	1,769,438	1,651,587	1,616,712
未払解約金	7,162,373	19,993,427	11,515,862	5,549,181	26,728,662	5,146,230
未払信託報酬	827,830	912,459	974,810	933,409	1,023,545	902,051
未払利息	55	46	73	57	117	58
その他未払費用	2,981	3,288	3,513	3,366	3,690	3,249
(C) 純資産総額(A-B)	円 1,140,164,329	円 1,314,997,031	円 1,194,631,436	円 1,237,748,777	円 1,208,188,018	円 1,291,575,614
元本	4,152,326,693	3,919,115,761	3,605,892,911	3,538,877,972	3,303,174,411	3,233,425,257
次期繰越損益金	△3,012,162,364	△2,604,118,730	△2,411,261,475	△2,301,129,195	△2,094,986,393	△1,941,849,643
(D) 受益権総口数	4,152,326,693口	3,919,115,761口	3,605,892,911口	3,538,877,972口	3,303,174,411口	3,233,425,257口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,746円	3,355円	3,313円	3,498円	3,658円	3,994円

(注) 第88期首元本額は4,218,494,292円、第88～93期中追加設定元本額は159,898,039円、第88～93期中一部解約元本額は1,144,967,074円、1口当たり純資産額は、第88期0.2746円、第89期0.3355円、第90期0.3313円、第91期0.3498円、第92期0.3658円、第93期0.3994円です。

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○損益の状況

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2020年9月29日～ 2020年10月27日	2020年10月28日～ 2020年11月27日	2020年11月28日～ 2020年12月28日	2020年12月29日～ 2021年1月27日	2021年1月28日～ 2021年3月1日	2021年3月2日～ 2021年3月29日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	4,938,762	4,658,443	4,248,027	4,189,837	3,950,643	3,834,881
受取配当金	4,939,972	4,659,885	4,250,455	4,191,323	3,952,756	3,836,449
支払利息	△ 1,210	△ 1,442	△ 2,428	△ 1,486	△ 2,113	△ 1,568
(B) 有価証券売買損益	66,446,894	236,611,162	△ 17,362,429	62,809,704	51,170,747	107,159,815
売買益	67,456,680	242,091,279	3,043,644	64,772,213	54,586,099	109,490,653
売買損	△ 1,009,786	△ 5,480,117	△ 20,406,073	△ 1,962,509	△ 3,415,352	△ 2,330,838
(C) 信託報酬等	△ 830,811	△ 915,747	△ 978,323	△ 936,775	△ 1,027,235	△ 905,300
(D) 当期損益金(A+B+C)	70,554,845	240,353,858	△ 14,092,725	66,062,766	54,094,155	110,089,396
(E) 前期繰越損益金	△2,086,877,916	△1,897,630,909	△1,499,023,265	△1,473,019,549	△1,308,656,741	△1,224,043,198
(F) 追加信託差損益金	△ 993,763,130	△ 944,882,122	△ 896,342,539	△ 892,402,974	△ 838,772,220	△ 826,279,129
(配当等相当額)	( 498,591,346)	( 471,933,780)	( 440,068,739)	( 434,807,882)	( 407,198,840)	( 399,912,891)
(売買損益相当額)	(△1,492,354,476)	(△1,416,815,902)	(△1,336,411,278)	(△1,327,210,856)	(△1,245,971,060)	(△1,226,192,020)
(G) 計(D+E+F)	△3,010,086,201	△2,602,159,173	△2,409,458,529	△2,299,359,757	△2,093,334,806	△1,940,232,931
(H) 収益分配金	△ 2,076,163	△ 1,959,557	△ 1,802,946	△ 1,769,438	△ 1,651,587	△ 1,616,712
次期繰越損益金(G+H)	△3,012,162,364	△2,604,118,730	△2,411,261,475	△2,301,129,195	△2,094,986,393	△1,941,849,643
追加信託差損益金	△ 993,763,130	△ 944,882,122	△ 896,342,539	△ 892,402,974	△ 838,772,220	△ 826,279,129
(配当等相当額)	( 498,591,348)	( 471,933,784)	( 440,068,744)	( 434,807,916)	( 407,198,861)	( 399,912,891)
(売買損益相当額)	(△1,492,354,478)	(△1,416,815,906)	(△1,336,411,283)	(△1,327,210,890)	(△1,245,971,081)	(△1,226,192,020)
分配準備積立金	372,520,860	353,109,903	320,878,705	314,467,495	294,624,961	289,354,655
繰越損益金	△2,390,920,094	△2,012,346,511	△1,835,797,641	△1,723,193,716	△1,550,839,134	△1,404,925,169

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年9月29日～2021年3月29日)は以下の通りです。

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2020年9月29日～ 2020年10月27日	2020年10月28日～ 2020年11月27日	2020年11月28日～ 2020年12月28日	2020年12月29日～ 2021年1月27日	2021年1月28日～ 2021年3月1日	2021年3月2日～ 2021年3月29日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,881,816円	4,642,391円	3,271,368円	4,133,017円	3,880,272円	3,803,558円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金相抵後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	498,591,348円	471,933,784円	440,068,744円	434,807,916円	407,198,861円	399,912,891円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	369,715,207円	350,427,069円	319,410,283円	312,103,916円	292,396,276円	287,167,809円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	873,188,371円	827,003,244円	762,750,395円	751,044,849円	703,475,409円	690,884,258円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,102円	2,110円	2,115円	2,122円	2,129円	2,136円
g. 分配金	2,076,163円	1,959,557円	1,802,946円	1,769,438円	1,651,587円	1,616,712円
h. 分配金(1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

## <Aコース（為替ヘッジあり）>

### ○分配金のお知らせ

	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

### ○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年9月29日～2021年3月29日）

項 目	第88期～第93期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 16	% 0.455	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 6 )	(0.165)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(10)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	16	0.457	
作成期間の平均基準価額は、3,618円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

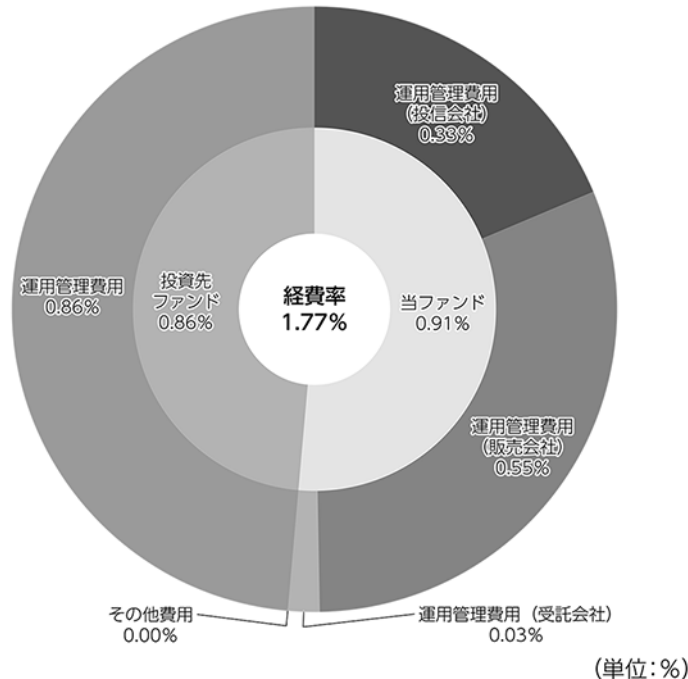
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt;Bコース（為替ヘッジなし）&gt;

## （参考情報）

## ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.77%です。



経費率(①+②)	1.77
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.86

(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○売買及び取引の状況

（2020年9月29日～2021年3月29日）

投資信託証券

銘 柄		第88期～第93期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・セレクション・ファンド-USエネルギー・ファンド-日本円クラス	口	千円	口	千円
		5,234	18,096	753,555	2,416,640

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年9月29日～2021年3月29日）

利害関係人との取引状況

<米国エネルギー革命関連ファンド Bコース（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<野村マネーインカム マザーファンド>

区 分	第88期～第93期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 85	百万円 35	% 41.2	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 86.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

（2021年3月29日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第87期末		第93期末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・セレクション・ファンド-USエネルギー・ファンド-日本円クラス	口	口	千円	%
	3,662,278	2,913,957	11,469,334	98.1
合 計	3,662,278	2,913,957	11,469,334	98.1

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。



<Bコース（為替ヘッジなし）>

親投資信託残高

銘柄	第87期末		第93期末	
	口	数	口	数
野村マネーインカム マザーファンド	千口		千口	
	80,000		80,000	千円
				79,856

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年3月29日現在)

項目	第93期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
野村マネーインカム マザーファンド	11,469,334	97.3
コール・ローン等、その他	79,856	0.7
	235,877	2.0
投資信託財産総額	11,785,067	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末
	2020年10月27日現在	2020年11月27日現在	2020年12月28日現在	2021年1月27日現在	2021年3月1日現在	2021年3月29日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	9,580,909,148	11,292,608,647	10,220,821,651	10,515,819,796	10,877,137,646	11,785,067,018
コール・ローン等	146,822,021	143,625,834	140,134,930	197,268,741	159,768,971	201,172,556
投資信託受益証券(評価額)	9,311,597,400	10,984,599,246	9,915,208,116	10,184,473,926	10,579,899,465	11,469,334,752
野村マネーインカム マザーファンド(評価額)	79,888,000	79,880,000	79,872,000	79,872,000	79,864,000	79,856,000
未収入金	42,601,727	84,503,567	85,606,605	54,205,129	57,605,210	34,703,710
(B) 負債	85,052,891	127,916,465	120,116,997	130,613,390	75,714,231	92,226,447
未払収益分配金	15,183,421	14,644,801	13,545,400	13,123,833	12,784,526	12,294,812
未払解約金	62,905,988	105,619,144	98,191,284	109,562,954	54,105,564	71,753,000
未払信託報酬	6,938,012	7,624,578	8,349,760	7,897,487	8,791,935	8,148,642
未払利息	402	393	383	540	437	551
その他未払費用	25,068	27,549	30,170	28,536	31,769	29,442
(C) 純資産総額(A-B)	9,495,856,257	11,164,692,182	10,100,704,654	10,385,206,406	10,801,423,415	11,692,840,571
元本	30,366,843,714	29,289,602,085	27,090,801,210	26,247,746,781	25,569,052,306	24,589,625,384
次期繰越損益金	△20,870,987,457	△18,124,909,903	△16,990,096,556	△15,862,540,375	△14,767,628,891	△12,896,784,813
(D) 受益権総口数	30,366,843,714口	29,289,602,085口	27,090,801,210口	26,247,746,781口	25,569,052,306口	24,589,625,384口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,127円	3,812円	3,728円	3,957円	4,224円	4,755円

(注) 第88期首元本額は30,948,935,968円、第88～93期中追加設定元本額は818,933,667円、第88～93期中一部解約元本額は7,178,244,251円、1口当たり純資産額は、第88期0.3127円、第89期0.3812円、第90期0.3728円、第91期0.3957円、第92期0.4224円、第93期0.4755円です。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○損益の状況

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2020年9月29日～ 2020年10月27日	2020年10月28日～ 2020年11月27日	2020年11月28日～ 2020年12月28日	2020年12月29日～ 2021年1月27日	2021年1月28日～ 2021年3月1日	2021年3月2日～ 2021年3月29日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	35,971,486	34,712,573	32,092,371	31,124,926	30,307,591	57,973,864
受取配当金	35,981,559	34,724,199	32,109,337	31,136,133	30,321,491	57,990,019
支払利息	△ 10,073	△ 11,626	△ 16,966	△ 11,207	△ 13,900	△ 16,155
(B) 有価証券売買損益	526,801,614	1,991,036,826	△ 239,290,349	586,175,664	673,840,779	1,259,350,318
売買益	538,506,310	2,024,694,213	22,286,534	611,274,002	687,673,518	1,307,730,990
売買損	△ 11,704,696	△ 33,657,387	△ 261,576,883	△ 25,098,338	△ 13,832,739	△ 48,380,672
(C) 信託報酬等	△ 6,963,080	△ 7,652,127	△ 8,379,930	△ 7,926,023	△ 8,823,704	△ 8,178,084
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	555,810,020	2,018,097,272	△ 215,577,908	609,374,567	695,324,666	1,309,146,098
(E) 前期繰越損益金	△17,245,020,960	△16,047,143,429	△12,918,263,887	△12,695,300,169	△11,718,488,747	△10,534,302,552
(F) 追加信託差損益金	△ 4,166,593,096	△ 4,081,218,945	△ 3,842,709,361	△ 3,763,490,900	△ 3,731,680,284	△ 3,659,333,547
(配当等相当額)	( 6,098,845,637)	( 5,900,336,611)	( 5,479,574,951)	( 5,322,400,204)	( 5,207,120,069)	( 5,035,434,897)
(売買損益相当額)	(△10,265,438,733)	(△ 9,981,555,556)	(△ 9,322,284,312)	(△ 9,085,891,104)	(△ 8,938,800,353)	(△ 8,694,768,444)
(G) 計 (D+E+F)	△20,855,804,036	△18,110,265,102	△16,976,551,156	△15,849,416,502	△14,754,844,365	△12,884,490,001
(H) 収益分配金	△ 15,183,421	△ 14,644,801	△ 13,545,400	△ 13,123,873	△ 12,784,526	△ 12,294,812
次期繰越損益金 (G+H)	△20,870,987,457	△18,124,909,903	△16,990,096,556	△15,862,540,375	△14,767,628,891	△12,896,784,813
追加信託差損益金	△ 4,166,593,096	△ 4,081,218,945	△ 3,842,709,361	△ 3,763,490,900	△ 3,731,680,284	△ 3,659,333,547
(配当等相当額)	( 6,098,845,654)	( 5,900,336,653)	( 5,479,574,991)	( 5,322,400,273)	( 5,207,120,159)	( 5,035,434,897)
(売買損益相当額)	(△10,265,438,750)	(△ 9,981,555,598)	(△ 9,322,284,352)	(△ 9,085,891,173)	(△ 8,938,800,443)	(△ 8,694,768,444)
分配準備積立金	4,670,821,579	4,508,233,161	4,160,268,250	4,035,986,082	3,927,364,981	3,795,778,573
繰越損益金	△21,375,215,940	△18,551,924,119	△17,307,655,445	△16,135,035,557	△14,963,313,588	△13,033,229,839

\* 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2020年9月29日～2021年3月29日) は以下の通りです。

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2020年9月29日～ 2020年10月27日	2020年10月28日～ 2020年11月27日	2020年11月28日～ 2020年12月28日	2020年12月29日～ 2021年1月27日	2021年1月28日～ 2021年3月1日	2021年3月2日～ 2021年3月29日
a. 配当等収益(経費控除後)	35,530,185円	34,592,765円	23,723,597円	30,737,413円	29,949,662円	57,614,028円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金相抵後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	6,098,845,654円	5,900,336,653円	5,479,574,991円	5,322,400,273円	5,207,120,159円	5,035,434,897円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	4,650,474,815円	4,488,285,197円	4,150,090,053円	4,018,372,542円	3,910,199,845円	3,750,459,357円
e. 分配対象収益 (a+b+c+d)	10,784,850,654円	10,423,214,615円	9,653,388,641円	9,371,510,228円	9,147,269,666円	8,843,508,282円
f. 分配対象収益 (1万口当たり)	3,551円	3,558円	3,563円	3,570円	3,577円	3,596円
g. 分配金	15,183,421円	14,644,801円	13,545,400円	13,123,873円	12,784,526円	12,294,812円
h. 分配金 (1万口当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

## <Bコース（為替ヘッジなし）>

### ○分配金のお知らせ

	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
1 万円当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

### ○お知らせ

該当事項はございません。

# ノムラ・セレクション・ファンドーUSエネルギー・ファンド (日本円為替ヘッジ・クラス、日本円クラス)

2020年1月31日決算

(計算期間:2019年2月1日～2020年1月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運 用 方 針	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
投 資 対 象	米国の金融商品取引所に上場されているエネルギー関連事業等に投資するMLPを主要投資対象とします。
受 託 会 社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投 資 顧 問 会 社	野村アセットマネジメント株式会社
副 投 資 顧 問 会 社	クリアブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー
管 理 事 務 代 行 会 社 保 管 銀 行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

\*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

## 運用計算書

2020年1月31日に終了する計測期間  
(米ドル)

**収益**

銀行口座利息	1,114,114
受取配当金等(源泉徴収税控除後)	14,368,173
雑収益	8,966,514
	<hr/>
収益合計	24,448,801

**費用**

投資顧問報酬	1,571,637
管理費用	215,089
保管費用	64,875
MLPに係る納税額	1,767,253
取引銀行報酬	5,730
受託報酬	43,059
法務報酬	3,443
立替費用	21,505
専門家報酬	51,681
雑費用	270,119
	<hr/>
費用合計	4,014,391

**純投資損益**

	20,434,410
	<hr/>

投資有価証券売買に係る損益	(35,012,047)
外国通貨および外国為替先渡し契約に係る損益	(682,040)
	<hr/>

当期実現純損益	(35,694,087)
	<hr/>

投資有価証券評価差損益	2,593,117
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	(24,154)
	<hr/>

当期評価差損益	2,568,963
	<hr/>

運用の結果による純資産の増減額	(12,690,714)
	<hr/>

組入資産明細  
2020年1月31日現在  
(米ドル)

	数量	銘柄	評価額	純資産比率(%)
		<b>カナダ</b>		
普通株	209,100	ENBRIDGE INC USD	8,504,097	4.76
	125,300	TC ENERGY CORP	6,868,946	3.84
			<u>15,373,043</u>	<u>8.60</u>
		カナダ計	<u>15,373,043</u>	<u>8.60</u>
		<b>アメリカ</b>		
合資会社	566,892	ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS LP	14,608,807	8.16
	211,304	MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS LP	12,969,840	7.26
	970,369	ENERGY TRANSFER LP	12,216,946	6.84
	555,066	SHELL MIDSTREAM PARTNERS LP	10,907,047	6.10
	615,797	PLAINS ALL AMERICAN PIPELINE LP	10,253,020	5.74
	540,043	GENESIS ENERGY LP	9,650,568	5.40
	361,984	MPLX LP	8,705,715	4.87
	576,320	BP MIDSTREAM PARTNERS LP	8,316,298	4.65
	198,857	CHENIERE ENERGY PARTNERS LP	7,689,800	4.30
	554,620	ENABLE MIDSTREAM PARTNERS LP	5,213,428	2.92
	337,547	CNX MIDSTREAM PARTNERS LP	5,194,848	2.91
	279,422	WESTERN MIDSTREA LP	4,627,228	2.59
	211,499	DCP MIDSTREAM LP	4,447,824	2.49
	146,400	NOBLE MIDSTREAM LP	3,279,360	1.83
	125,223	HOLLY ENERGY PARTNERS LP	2,858,841	1.60
	153,470	RATTLER MIDSTREA LP	2,315,862	1.30
	102,190	PBF LOGISTICS LP	2,145,990	1.20
	83,400	EQT MIDSTREA PARTNERS LP	1,930,710	1.08
			<u>127,332,132</u>	<u>71.24</u>
普通株	512,700	KINDER MORGAN INC	10,700,049	5.99
	106,300	ONEOK INC	7,958,681	4.45
	380,000	WILLIAMS COS INC	7,862,200	4.40
	159,900	TARGA RESOURCES CORP	5,836,350	3.27
	528,495	ANTERO MIDSTREAM	2,663,615	1.49
			<u>35,020,895</u>	<u>19.60</u>
		アメリカ計	<u>162,353,027</u>	<u>90.84</u>
		<b>組入資産合計</b>	<b><u>177,726,070</u></b>	<b><u>99.44</u></b>

## 外国為替先渡し契約

2020年1月31日現在

通貨(買い)		通貨(売り)		満期	未実現損益(米ドル)
USD	23,542	JPY	2,550,000	10-Feb-20	141
USD	25,294	JPY	2,750,000	25-Feb-20	39
USD	25,274	JPY	2,750,000	10-Feb-20	38
USD	3,231	JPY	350,000	10-Feb-20	19
USD	7,355	JPY	800,000	25-Feb-20	8
USD	7,349	JPY	800,000	10-Feb-20	8
USD	459	JPY	50,000	25-Feb-20	1
USD	459	JPY	50,000	10-Feb-20	1
USD	455	JPY	50,000	10-Feb-20	(3)
USD	455	JPY	50,000	25-Feb-20	(4)
USD	454	JPY	50,000	10-Feb-20	(4)
USD	454	JPY	50,000	10-Feb-20	(4)
USD	6,393	JPY	700,000	10-Feb-20	(30)
USD	5,919	JPY	650,000	25-Feb-20	(50)
USD	5,914	JPY	650,000	10-Feb-20	(50)
USD	7,285	JPY	800,000	25-Feb-20	(62)
USD	7,279	JPY	800,000	10-Feb-20	(62)
USD	14,617	JPY	1,606,530	10-Feb-20	(125)
USD	37,749	JPY	4,150,000	25-Feb-20	(363)
USD	37,719	JPY	4,150,000	10-Feb-20	(364)
USD	67,878	JPY	7,459,995	10-Feb-20	(580)
JPY	1,069,712,763	USD	9,730,233	25-Feb-20	93,830
JPY	10,700,000	USD	97,359	10-Feb-20	833
JPY	5,750,000	USD	52,617	10-Feb-20	149
JPY	1,550,000	USD	14,111	10-Feb-20	112
JPY	1,500,000	USD	13,656	10-Feb-20	109
JPY	200,000	USD	1,822	10-Feb-20	13
JPY	200,000	USD	1,827	10-Feb-20	8
JPY	200,000	USD	1,828	25-Feb-20	8
JPY	100,000	USD	913	10-Feb-20	4
JPY	50,000	USD	456	10-Feb-20	2
JPY	50,000	USD	457	25-Feb-20	2
JPY	50,000	USD	456	10-Feb-20	2
JPY	50,000	USD	457	25-Feb-20	2
JPY	200,000	USD	1,835	10-Feb-20	0
JPY	200,000	USD	1,836	25-Feb-20	0
JPY	100,000	USD	917	10-Feb-20	0
JPY	100,000	USD	918	25-Feb-20	0
JPY	50,000	USD	459	10-Feb-20	(1)
JPY	50,000	USD	459	25-Feb-20	(1)
JPY	600,000	USD	5,543	10-Feb-20	(38)

通貨(買い)		通貨(売り)		満期	未実現損益(米ドル)
JPY	1,060,984,054	USD	9,801,901	10-Feb-20	(65,404)
					<u>28,184</u>

金額は四捨五入されている。1未満の価額はゼロとして開示されている。



# 野村マネーインカム マザーファンド

## 運用報告書

第8期（決算日2021年3月29日）

作成対象期間（2020年3月28日～2021年3月29日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

**野村アセットマネジメント**

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
	円		%	%	%	百万円
4期(2017年3月27日)	10,012		△0.1	28.3	—	92
5期(2018年3月27日)	10,005		△0.1	9.8	—	92
6期(2019年3月27日)	9,996		△0.1	54.6	—	91
7期(2020年3月27日)	9,989		△0.1	31.6	—	91
8期(2021年3月29日)	9,982		△0.1	54.8	—	91

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

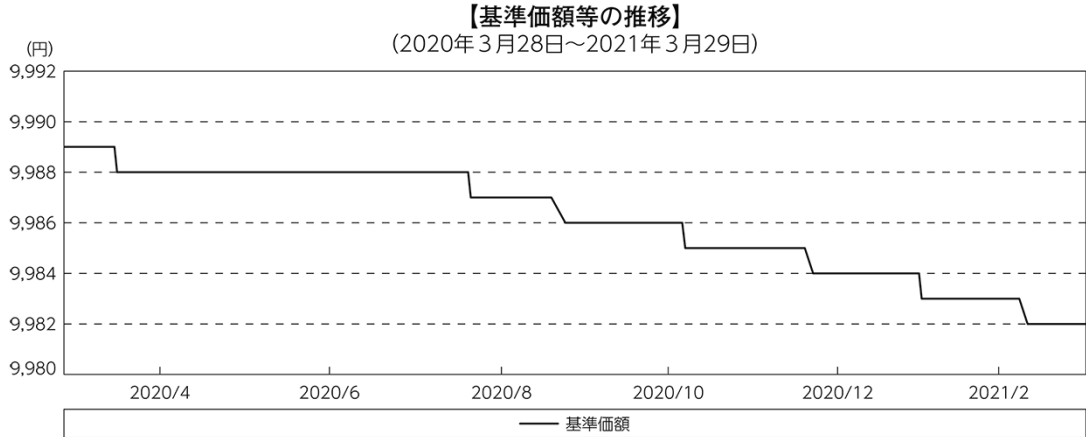
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2020年3月27日	円 9,989		% —	% 31.6	% —
3月末	9,989		0.0	31.6	—
4月末	9,988		△0.0	65.4	—
5月末	9,988		△0.0	65.4	—
6月末	9,988		△0.0	76.3	—
7月末	9,988		△0.0	72.9	—
8月末	9,987		△0.0	70.7	—
9月末	9,986		△0.0	59.9	—
10月末	9,986		△0.0	59.9	—
11月末	9,985		△0.0	59.9	—
12月末	9,984		△0.1	59.9	—
2021年1月末	9,983		△0.1	60.1	—
2月末	9,983		△0.1	60.1	—
(期末) 2021年3月29日	9,982		△0.1	54.8	—

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

### ○投資環境

国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にある中で、持ち直しの動きが続いているものの、一部消費や雇用・所得環境に弱さが見られました。このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2021年3月には、金融緩和の点検結果とその対応を公表しました。

TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、期を通して-0.1%前後で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は-0.01～-0.07%程度で推移しました。

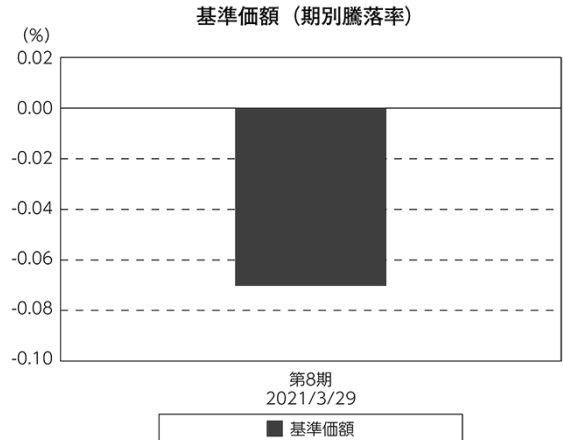
## ○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年3月28日～2021年3月29日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2020年3月28日～2021年3月29日)

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	630,237	560,217 (70,000)
内	特殊債券	101,564	— (80,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年3月28日～2021年3月29日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	171	66	38.6	—	—	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2021年3月29日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特殊債券 (除く金融債)	千円 50,000 (50,000)	千円 50,298 (50,298)	% 54.8 (54.8)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 54.8 (54.8)
合 計	50,000 (50,000)	50,298 (50,298)	54.8 (54.8)	— (—)	— (—)	— (—)	54.8 (54.8)

\*( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期		末	
		額 面 金 額	評 価 額	債 還 年 月 日	
特殊債券(除く金融債)	%	千円	千円		
政保 地方公共団体金融機構債券(8年) 第2回	0.502	30,000	30,124	2021/12/24	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第152回	1.1	20,000	20,174	2021/12/28	
合 計		50,000	50,298		

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年3月29日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
公社債	千円	%		
	50,298	54.8		
コール・ローン等、その他	41,555	45.2		
投資信託財産総額	91,853	100.0		

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	91,853,256
コール・ローン等	41,439,836
公社債(評価額)	50,298,223
未収利息	44,170
前払費用	71,027
(B) 負債	113
未払利息	113
(C) 純資産総額(A-B)	91,853,143
元本	92,019,992
次期繰越損益金	△ 166,849
(D) 受益権総口数	92,019,992口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,982円

(注) 期首元本額は92,019,992円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は0.9982円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・米国エネルギー革命関連ファンド Bコース(為替ヘッジなし) 80,000,000円
- ・米国エネルギー革命関連ファンド Aコース(為替ヘッジあり) 12,000,000円
- ・米国エネルギー革命関連ファンド(年1回決算型) 為替ヘッジあり 9,996円
- ・米国エネルギー革命関連ファンド(年1回決算型) 為替ヘッジなし 9,996円

## ○損益の状況 (2020年3月28日~2021年3月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	254,145
受取利息	287,964
支払利息	△ 33,819
(B) 有価証券売買損益	△321,811
売買損	△321,811
(C) 当期損益金(A+B)	△ 67,666
(D) 前期繰越損益金	△ 99,183
(E) 計(C+D)	△166,849
次期繰越損益金(E)	△166,849

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。